

企業と金融機関における生物多様性オフセットに関する動向

東京都市大学大学院 環境情報学研究科 田中章研究室 修士2年 阿部旭秀 Asahi ABE, 井上結貴 Yuki INOUE
 (g2183102@tcu.ac.jp) (g2183103@tcu.ac.jp)



国内外における生物多様性についての潮流

- ・愛知目標(生物多様性の損失を止めるための2020年までに達成すべき20の目標)の達成度は約1割 (CBD, 2020)
- ・カーボンニュートラルとネイチャーポジティブの統合的な取り組みを推奨 (IPBES, 2021)
- ・金融機関や企業における環境への悪影響を与える資金の流れを止め、その流れを逆転させることを目的とした国際機関であるTNFDが公式に発足
- ・G7 会合において、陸域と海域の30%以上を健全な生態系として保全する目標である30by30を採択 (環境省, 2021)
- ・56以上の諸外国では、開発による自然生態系への悪影響を相殺するしくみとして生物多様性オフセットを導入 (OECD, 2016)
- ・日本では、30by30に向け、民間等の取り組みにより保全が図られた地域であるOECMの導入や経済的インセンティブ等に関する検討会が開催され、生物多様性オフセット・バンクの導入も検討されている

生物多様性オフセットとは

- ・開発に伴う自然生態系への悪影響に対する方策 (ミティゲーション)の最終手段であり、回避、最小化しても悪影響が残った際に行われるミティゲーション
- ・ミティゲーションにおける優先順位 = ミティゲーションヒエラルキー(回避・最小化・代償)
- ・悪影響は定量評価され、同等の量以上を補償しなければならない(ノーネットロス/ネットゲイン)

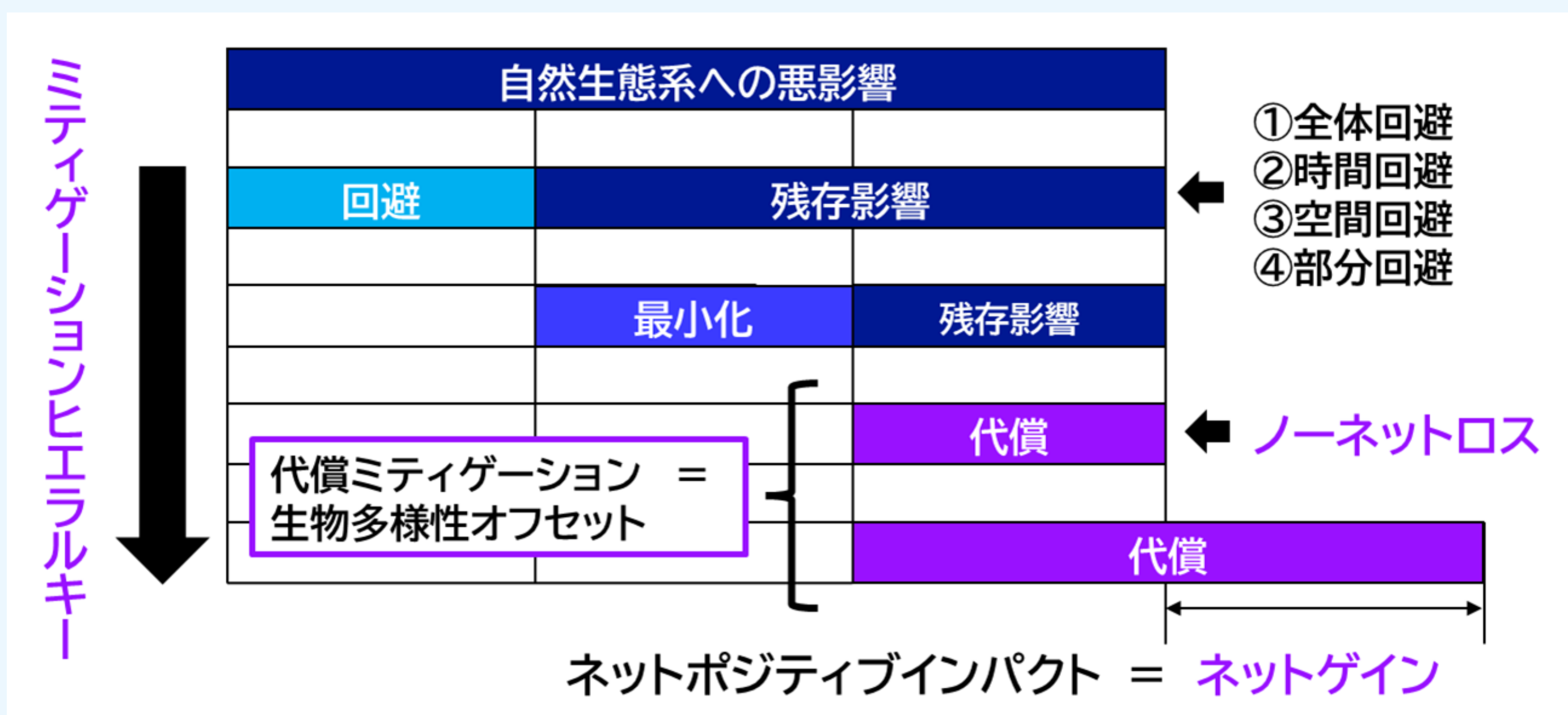


図1 ミティゲーションヒエラルキー
 出典:田中(2009)

ネイチャーポジティブとは

- ・生物多様性が失われ続けている今、この問題は地球とそこに住む人々の健康に深刻な影響を与えるため、カーボンニュートラルと同等な自然に関する国際目標が必要であるとして、Harveyらにより提案された

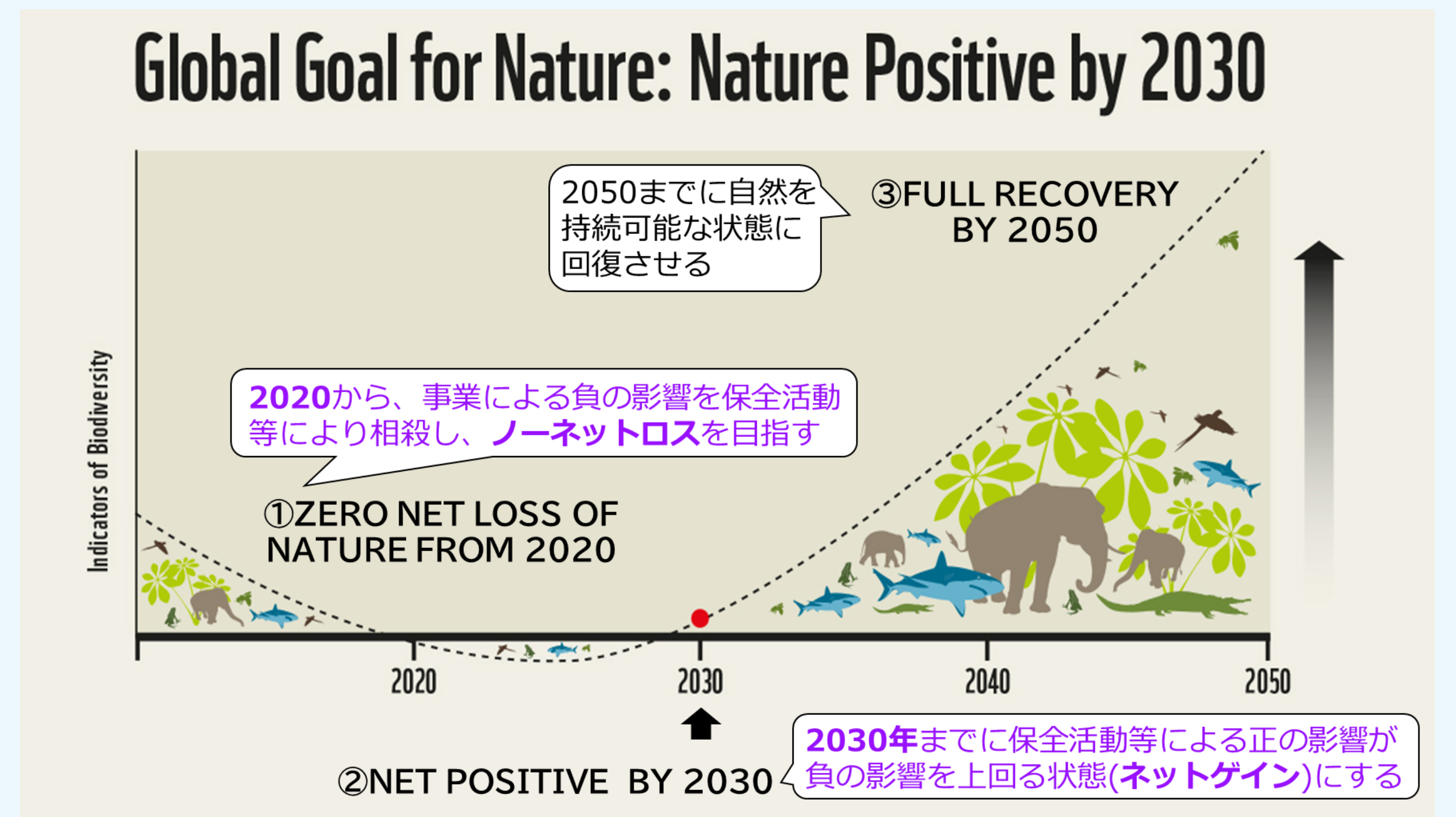
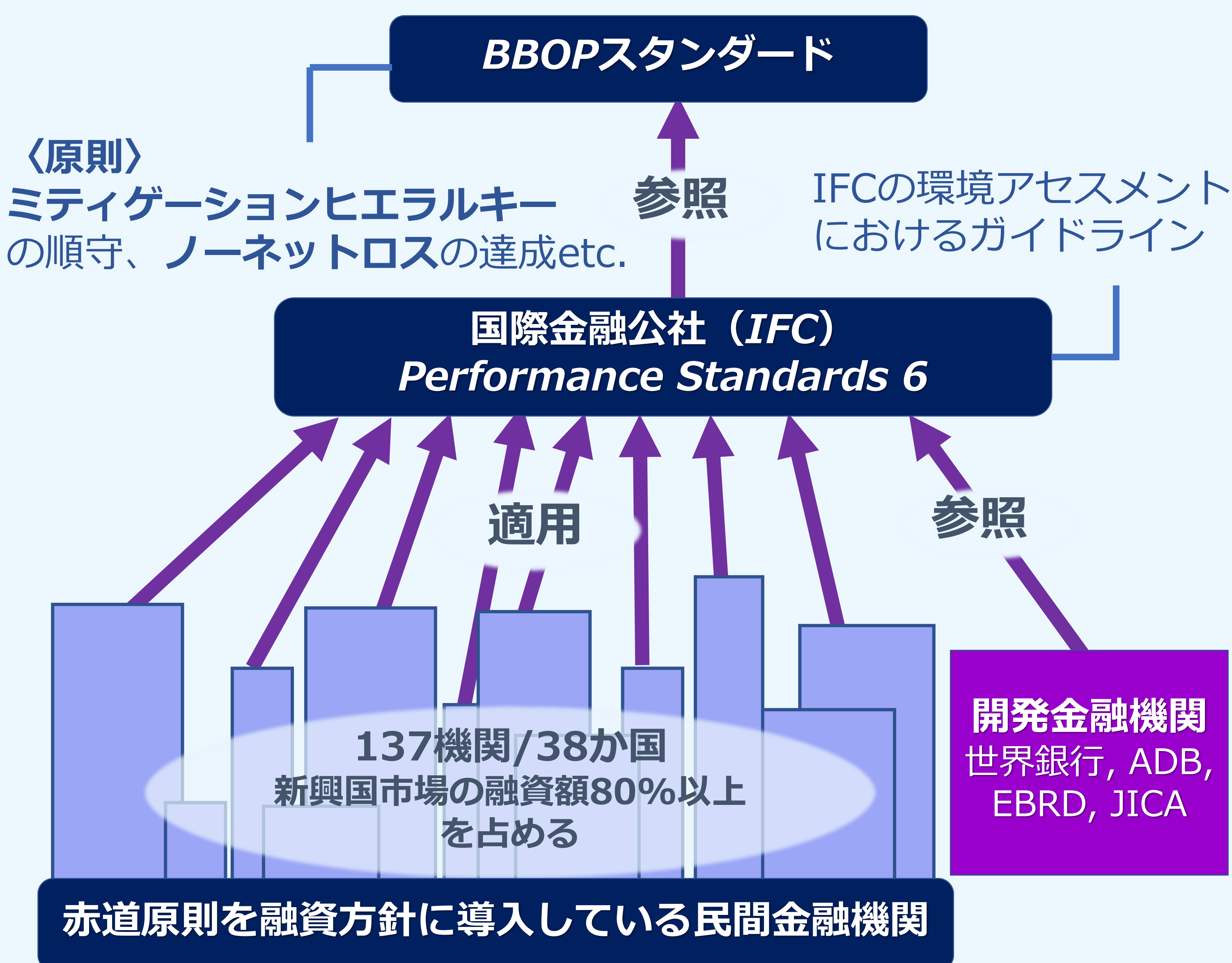


図2 ネイチャーポジティブ
 出典:Harvey Locke et. al (2020)

金融機関における生物多様性オフセットに関する規定



企業におけるノーネットロス目標*の動向

- ・2022年10月時点で、最低でも16カ国から48の企業がノーネットロス目標を持っていることが明らかになった
 - ・そのうち日本企業は、12企業であった
 - ・ノーネットロス目標を持つ企業数は直近の5年で倍増 (図3)
- *: 生物多様性や環境に対する影響を正味0にしようとする目標

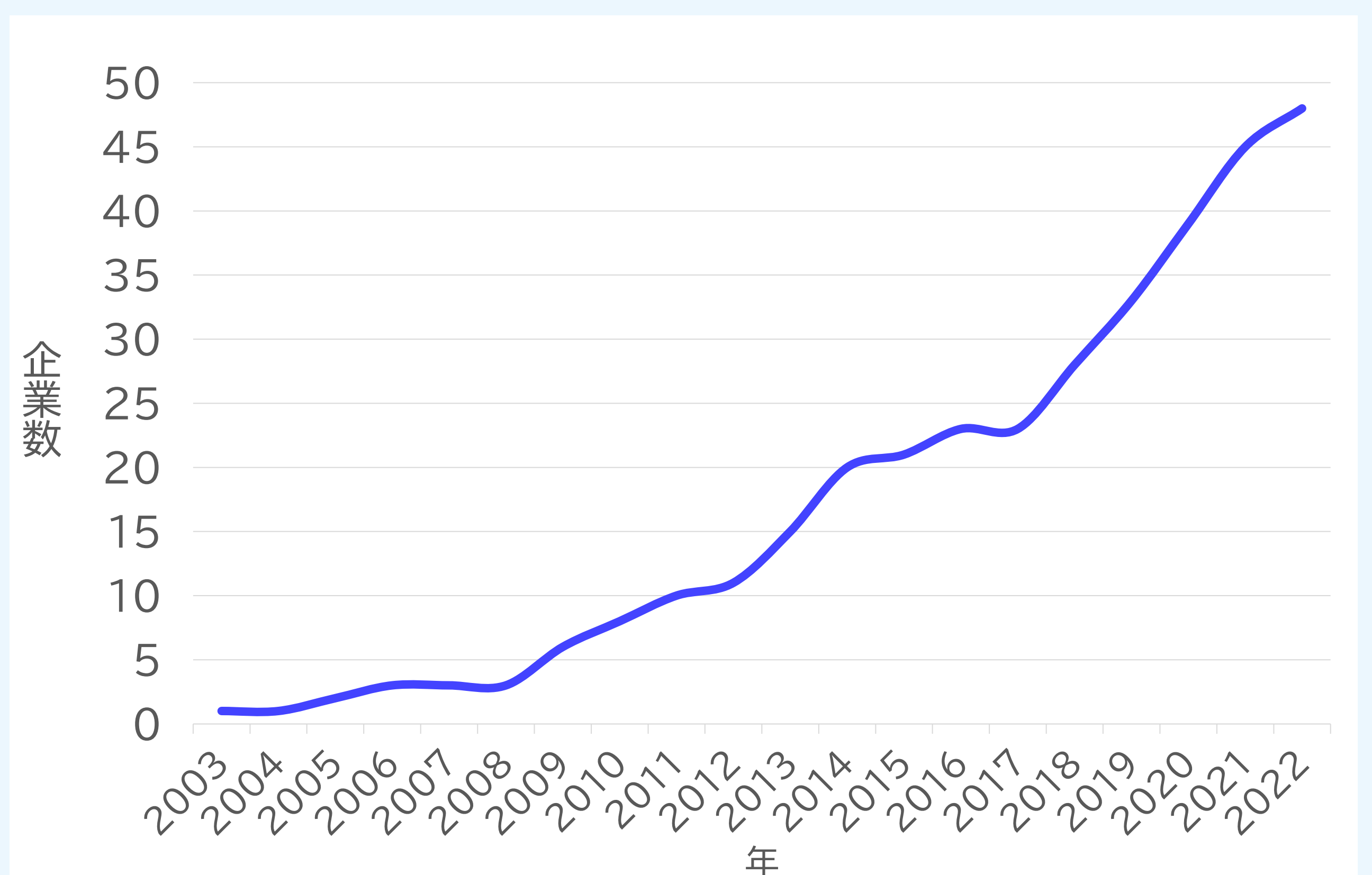


図3 ノーネットロス目標を持つ企業数の経年変化

まとめ

- ◇ネイチャーポジティブの達成に向けて、以下のことが重要であると考えられる
- ◇事業が自然環境へ与える負の影響を把握すると共に、それに1対1対応する正の影響によりノーネットロス、ネットゲインを目指す
- ◇代償できない自然には悪影響を与えない、回避・最小化により最大限負の影響を減らす等、ミティゲーションヒエラルキーを遵守
- ◇負の影響、正の影響共に定量評価をし、科学的なアプローチを取る

引用文献

CBD (2020) Global Biodiversity Outlook 5. Montreal. <https://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/library/files/gbo5-jp-1r.pdf>. 2022.11.30
 Equator Principle(2022) MEMBERS & REPORTING. <https://equator-principles.com/members-reporting/>
 Harvey Locke, Johan Rockström, Peter Bakker, Manish Bapna, Mark Gough, Jodi Hilty, Marco Lambertini, Jennifer Morris, Carlos M, Rodriguez, Cristián Samper, M. Sanjayan, Eva Zabey and Patricia Zurita (2020) A Nature-Positive World: The Global Goal for Nature. https://www.nature.org/content/dam/tnc/nature/en/documents/NaturePositive_GlobalGoalCEO.pdf. 2022.11.30
 IPBES (2021) IPBES-IPCC CO-SPONSORED WORKSHOP REPORT ON BIODIVERSITY AND CLIMATE CHANGE. <https://www.actu-environnement.com/media/pdf/news-37685-rapport-atelier-giec-ipbes-climat-biodiversite.pdf>. 2022.11.30
 OECD (2016) Biodiversity Offsets Effective Design and Implementation. <https://www.oecd.org/env/biodiversity-offsets-978926422519-en.htm>
 環境省 (2021) 30by30の概要. <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/documents/flyer30by30.pdf>. 2022.11.30
 環境省 (2022)令和4年度第1回「30by30に係る経済的インセンティブ等検討会」議事次第・議事録・資料 https://www.env.go.jp/nature/30by30_00001/r4-dai-1-kai-30by30kentokai_00001.html. 2022.11.30
 田中章 (2009) “生物多様性オフセット”制度の諸外国における現状と地球生態系銀行、“アースバンク”の提言. 環境アセスメント学会誌, Vol.7, No.2, 1-7.
 みずほ銀行, 三菱東京UFJ銀行, 三井住友銀行 (2016) 実務解説 エクエーター原則/赤道原則—プロジェクト融資の環境・社会リスク管理.